

## 資金計画 記入例

助成を希望する活動（事業）の資金計画

収入の部	金額 (円)	
自己資金（繰越金、会費収入など）	280,000	会費、繰越金
活動（事業）による回収 *1	0	
他団体からの助成金（確定） *2	0	
同上（予定） *2	0	
当財団への助成希望金額	985,500	
合計金額	1,265,500	

\*1 有償印刷物、入場料等。 \*2 団体名を備考欄に記入して下さい。（書き切りがない場合は、別紙を追加して下さい。）

支出の部 使途及び費目	所要金額 (円)	当財団への 助成希望金額	内 訳（申請金額の積算根拠）
機材・資材購入 (〇〇〇〇)	367,500	367,500	見積書・カタログ ①参照
機材レンタル (〇〇〇〇)	63,000	63,000	31,500円×2回 見積書 ②参照
アルバイト	80,000	0	自己資金
会場借上	45,000	45,000	見積書・パンフレット ③参照
講師謝金	40,000	40,000	20,000円×2名
看板、ポスター製作	70,000	70,000	見積書 ④参照
配付資料作成	100,000	100,000	見積書 ⑤参照
報告書印刷	300,000	300,000	500部作成 見積書 ⑥参照
通信費	50,000		自己資金
交通費（含むガソリン代）	70,000		自己資金
事務関連消耗品	80,000		自己資金
合計金額	1,265,500	985,500	

団体が、本事業を実施するために負担する費用です。通信費、事務費などは自己負担ですのでゼロということはありません。下枠の自己資金の合計と一致します

・物品購入、印刷物に関しては、見積書を添付し、明細を明らかにしてください。  
・物品については、カタログも添付のこと。

書類「助成を希望する理由」において、  
・物品に関しては、使用目的、必要性等を説明。  
・印刷物に関しては、配布先、配布部数等を説明。  
・講演会、講習会に関しては、テーマ、講師等を説明。

講師謝金の上限は2万円（2時間程度の講演）。団体メンバーは対象外。講師交通費は必要性を審査（JRを基準）。宿泊費は自己資金

ガソリン、機器の燃料等は、原則、助成対象外です。

他団体からも助成を受ける場合は、所要金額の下欄に括弧書きでその金額、確定している場合はA、予定の場合はBを記入して下さい。

### 添付書類

- ① 当財団に助成を希望する理由・事情・アピール等。
- ② 物品購入等の場合は、見積書・カタログ等を添付のこと。
- ③ 活動地の略図を添付のこと。
- ④ 土地利用の場合は、地権者の利用承諾書を添付のこと。土地借上料は、原則、助成対象外。
- ⑤ 助成を希望する活動（事業）が、2期以上にわたる場合は、前年実績があれば、その報告と収支決算、次年の予定があれば、その計画と収支予算の概要。
- ⑥ 団体の、目的・事業・組織・沿革等が分かる文書（規約等）。（当財団に提出済の場合は、重要な変更があった場合のみ。）
- ⑦ 団体の、当年度事業計画・収支予算、過去2年間の事業計画・収支予算及び事業報告・収支決算（任意）。